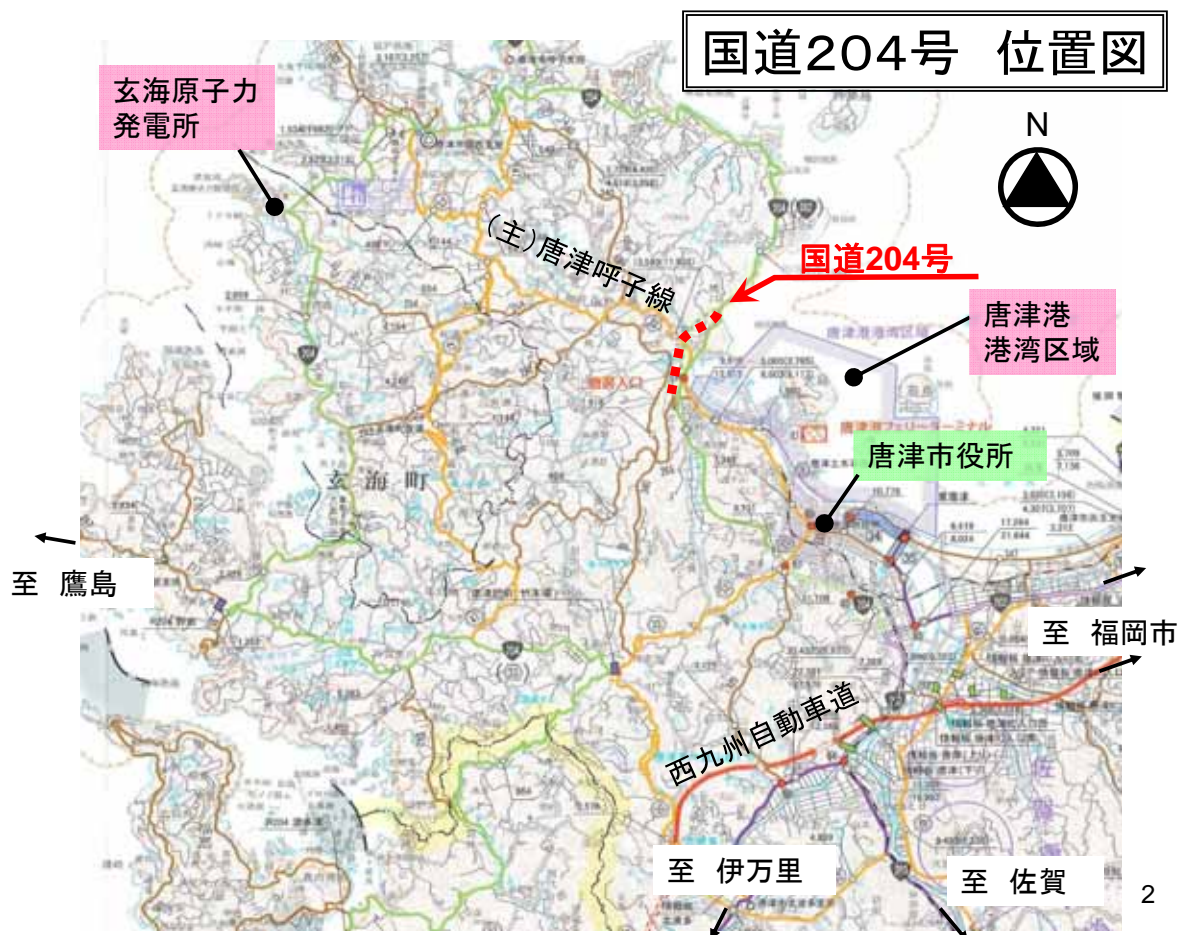


# 平成26年度 再評価委員会

路線名：一般国道204号(唐房工区)  
事業名：道路整備交付金事業  
(社会資本整備総合交付金)  
(事業採択後10年経過のため再評価)

1



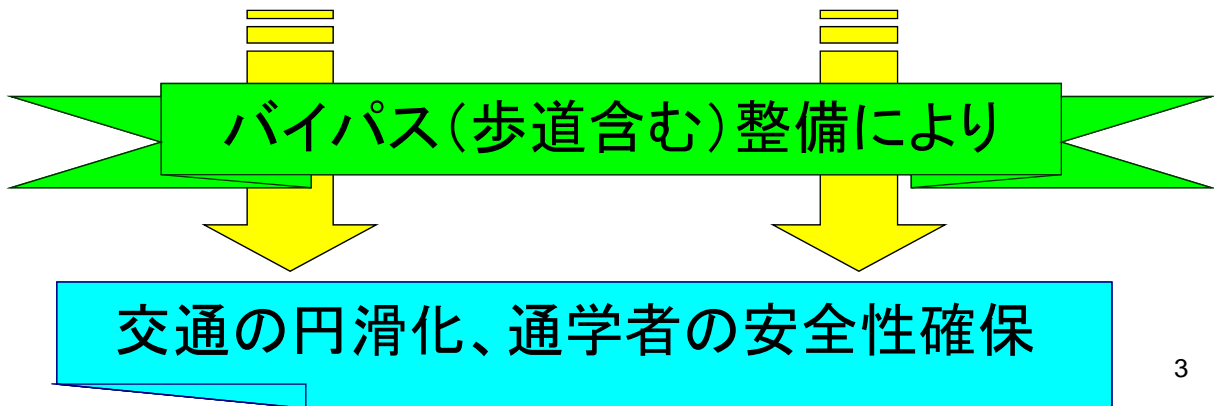
# 事業目的



歩道未整備で  
通学者が危険



幅員狭小のため  
車両交通に支障



バイパス(歩道含む)整備により

交通の円滑化、通学者の安全性確保

3

## 事業概要

- 全体事業費: 52.0億円
- 工期: 平成17年度～平成30年度(予定)
- 全体延長: L=2,000m
- 事業内容: 改良工 L=2,000m
  - トンネル工 1箇所
  - 橋梁工 2基
  - 用地買収 43,860㎡
  - 家屋補償 16戸

## 事業の進捗状況

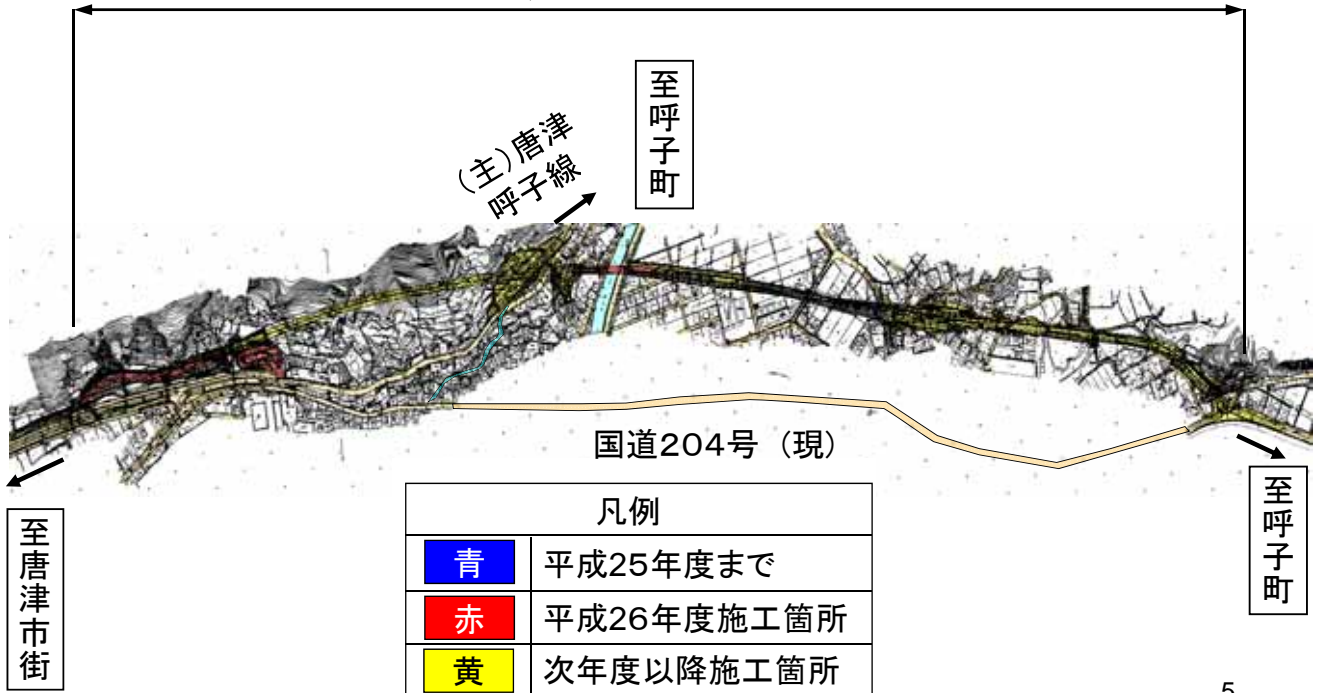
	平成25年度まで	平成26年度	平成27年度以降
事業費(億円)	27.3	3.1	21.6
進捗率(%)	52.5	58.5	100.0
用地進捗率(%)	95.3	100.0	100.0

4

# 国道204号 平面図



全体延長 L=2,000m



5

## 平成26年 現地状況



起点側から終点側を望む  
(起点側の整備状況)

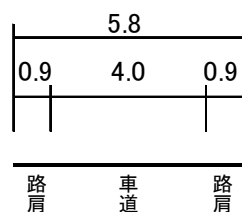


起点側から終点側を望む  
(終点側の整備状況)

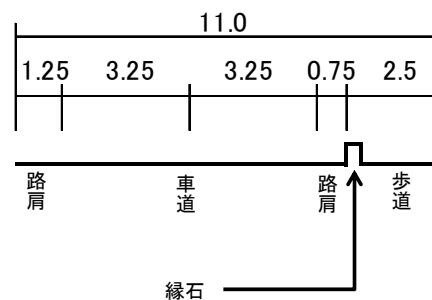
6

# 一般国道 204号 横断図

現況



計画



7

## 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の推移
  - 平成11年度 4,552台／日
  - 平成17年度 5,371台／日
  - 平成22年度 4,572台／日
- 平成25年4月に二丈浜玉道路が無料化されたことにより、福岡方面からの観光客増加が見込まれることから、本路線は今後、更なる交通量の増加が予想される。

8

# 費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比 (B/C)} = 64.1 / 52.2 = 1.2$$

- 【便益】

走行時間短縮便益	=	60.2億円
走行経費縮小便益	=	3.3億円
交通事故減少便益	=	0.6億円
合計		64.1億円

- 【費用】

事業費	=	50.6億円
維持管理費	=	1.6億円
合計		52.2億円

9

## コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 旧国鉄用地の有効利用を図っている。

(代替案の検討)

- 特になし

## 対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。